

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	角館病院事業医事他助手業務委託				
担 当 課 係 名	総務企画課 課		総務 係	作成者	富木弘一
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち			総合計画の ページ
	基本計画	地域医療、救急医療体制の整備			
	主要施策	地域医療連携の強化			48
予 算 費 目	病院事業 会計	款	項	目	
事 業 期 間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度		新規 / 継続の区分		毎年度
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	地方公営企業法、医療法				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	病院の医事他助手業務の効率化と委託化
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	病院医事他助手業務の効率化、人件費の削減等を図る
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	医事他助手業務の委託化

【事務事業の推移】

	項目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	医事業務等委託管理	人	32	42
	成果指標	委託契約支払金額	円	127,720,950	
投下コスト	項目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		1,598,181	1,587,670	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	284,843	299,006	
		一般財源	1,313,338	1,288,664	
	人件費 (B)		2,562,387	2,606,000	
		職員数	268.0	268.0	
		職員平均人件費	7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト		4,160,568	4,193,670	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		
			—		
	市民1人当たりのコスト(円)		130,470	133,578	

【事務事業の今までの成果】

18年度医事業務はニチイ学館と一部東北メディカルへ委託、病棟助手は東北メディカルに委託。19年度から東北メディカルへ全部変更を行った。委託金額の減額、派遣職員の待遇改善、業務効率化が図られた。医事業務以外の部門での委託化：病棟助手業務、医局秘書、総務管理課事務補助、医療連携室、診療部門助手に委託職員を配置した。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	医療費の抑制、国は医師不足等に伴う自治体病院の経営悪化に対し、公立病院等経営改革推進計画の策定を行うよう通達
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	委託先の変更により、経費削減、労務管理の向上、医事業務の改善がすすめられたが、今後は全部委託化を検討する。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

今後、医事業務については委託化を進める。職員退職後は、委託職員へ切り替えることにより、業務の効率化と人件費の削減を図る。医事業務以外でも、事務補助、病棟助も委託職員へ切り替えを進める

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	委託先の変更により、経費削減、労務管理の向上、医事業務の改善がすすめられたが、今後は更なる業務の委託化を検討する。

一次評価診断図

